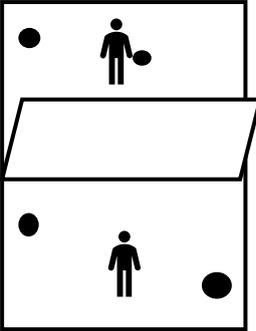


自作教具の活用事例

<p>【作品名】</p> <p>紙玉合戦</p>	<p>【学校名】</p> <p>日上市立滑川中学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】</p> <p>自立活動</p> <p>(③人間関係の育成⑥コミュニケーション)</p>	<p>【制作者名】</p> <p>宇佐美 大地</p>
<p>【制作の意図】</p> <p>きまりを守りながらゲームを楽しむ経験をすることでルールを守る意識づけをする。また、ゲームを通して勝敗を認めること、仲間と協力すること、集中して活動に取り組むことができるようにする。</p>	<p>【使用方法】</p> <p>① 用具等の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞紙を丸めて玉を作る。</li> <li>・テープを貼ってコートを作る。</li> </ul> <p>② ゲームをする。</p> <p>〈ルール〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1分間相手のコートに玉を投げ入れる。</li> <li>・玉は手で投げ、足で蹴らない。</li> <li>・相手のコートに入らない。</li> <li>・ビニール袋に玉を入れながら自分のコートに残った数を数える。</li> <li>・自コートに残った玉の数が少ない方が勝利。</li> </ul>
<p>【制作上の工夫】</p> <p>ゲームに使う用具等を全て生徒が作成することで、活動意欲を高めた。コートを作成する時に、分担を明確にすることで準備と片付けの役割を果たせるようにした。</p> <p>ゲームで夢中になり過ぎてルールを忘れることがないように事前にルールをホワイトボード上に記載した。</p>	<p>【見取り図】</p> <p>テープを床に貼ってコートを作る。中央のラインは、テープの両端をそれぞれホワイトボードと窓に巻き付けるように貼り、テニスコートのネットのようになる。</p> 
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】</p> <p>ゲームの内容が玉を投げる簡単なルールのため、ほとんどの生徒が取り組むことができた。また、ゲームに参加できない生徒も、新聞紙を丸める、テープを貼るなどの活動を行い、授業に参加することができた。</p> <p>支援学級だけでなく交流学級の授業でも活用できると感じた。さらに生徒の実態に応じてルールやコート、使用する玉などを変えることができる。</p>
<p>【材料・材質・部品等】</p> <p>新聞紙、テープ、ビニール袋</p>	